

北里大学医療衛生学部 半期の主なニュースと魅力を満載!!

理学部・医療衛生学部創立25周年

ーコ・メディカルスタッフの質の高い教育を展開してー



理学部・衛生学部の学び舎 A1号館



医療衛生学部
学部長

北里 英郎

理学部と医療衛生学部は、1994年に母体である旧衛生学部から誕生し、2019年に25周年を迎えました。4月20日には、

これを記念した両学部主催の講演会・祝賀会が盛大に開かれます。ご存知のように旧衛生学部は、北里大学最初の学部として北里研究所創立50周年に創立された学部で、医療衛生学部（以下「学部」）はその伝統と誇りを受け継ぎ、チーム医療を支える質の高いコ・メディカルスタッフの教育を展開してまいりました。その間、学部は2006年に衛生技術学科を改組して健康科学科と医療検査学科を設置し、

1次予防（健康科学科）、2次予防（医療検査学科、医療工学科）、3次予防（リハビリテーション学科）そして基礎医学部門からなる、現在の4学科6専攻の形となりました。現在では、健康科学科は「公認心理師」養成の教育にも対応しております。

卒業生は、学部として8,782人を輩出し、医療系の施設、企業で活躍しております。1973年に完成したA1号館（写真）の建替えは学部の悲願であり、この25周年に合わせ、2019年2月に着工し、2020年6月の竣工を目指しております。この

建物の完成により、学部の教育研究は2棟に集約されて効率が大幅に向上すると同時に、光熱水費等の資源エネルギーに関して大幅に節約できると期待されております。

学部が、少子化の中で今後も伝統と誇りを維持しながら、時代に即した改革を進めながら発展することを目指しております。



北里大学医療衛生学部創立25周年ロゴ



新校舎完成予想パース

同窓会寄付目録贈呈式

医療衛生学部校舎建替計画募金への協力



基礎医学部門生理学
准教授
秋田 久直
(北里大学医療衛生学部
同窓会 副会長)

医療衛生学部創立25周年を心よりお喜び申し上げます。

1994年4月、医療衛生学部設立の際に、旧衛生学部の衛生技術学科と産業衛生学科が改組されたため、医療衛生学部同窓会も旧衛生学部同窓会の衛生技術学科と産業衛生学科卒業生を加えて発足し、2018年度卒業生を合わせて15,128名の会員を擁する団体となっています。本会の活動の目的は、会員相互の親睦を図ることと医療衛生学部の発展に寄与することです。学部教職員と同窓会役員との懇談会を隔年秋に開催し、学部・大学の現状等について報告頂き、意見交換を行っています。その中で、学部校舎建替えとそとのための募金活動が開始されることを伺いました。2018年11月10日に、北里英郎医療衛生学部長に小林隆幸医療衛生学部同窓会会長より

「北里大学医療衛生学部校舎建替計画募金」への寄付金の目録を贈呈し、募金に協力させて頂きました。準会員である学部学生の教育の充実に充てて頂ければと存じます。

医療衛生学部で育成する医療従事者の教育は、北里研究所内の4病院の協力を得て、他大学等の追従を許さない内容となっていると思います。今後更なる18歳人口の減少に伴い、受験者数の減少も懸念されますが、新校舎の建設を契機に、医療衛生学部の益々の発展を心よりご祈念致しております。



募金への目録贈呈式 (2018年11月10日)

新校舎建替え 地鎮祭

いよいよ学部新校舎建替えが始まります



基礎医学部門病態生化学
教授
市川 尊文

2019年2月21日(大安吉日) 13

時より、建設予定地であるA3号館前広場において「(仮称)新A号館新築工事安全祈願祭」が執り行われました。式祭には、(株)日建設計、大成建設(株)の関係者をお招きし、亀ヶ池八幡宮の宮司により新A号館新築工事の安全を祈願していただきました。当方は、小林弘祐理事長をはじめとした学校法人北



里研究所理事の方々、伊藤智大学長他大学関係部署の方々、医療衛生学部から北里英郎学部長と運営委員、そして各学科・専攻・部門から選任された「プロジェクトA」の委員らが多数参列しました。

創立25周年を迎える本学部の新たな学び舎は、来年6月末の竣工に向けて着々と工事が進められます。そして、新校舎完成ののちには、現在のA3号館が改修工事に入り、再来年4月には医療衛生学部の念願であったハード面でのリフレッシュを完了する予定です。



国際チーム医療演習―多様性への気づきと気遣い

患者様には様々な文化的・社会的背景があり、医療従事者にも多様な専門性がある。多様性への理解と配慮ができる医療従事者を目指した演習を実施した。



リハビリテーション学科
作業療法学専攻
教授
高橋 香代子

学長助成金と北里大学学術国際交流助成金を得て、国際部主導で今年も「国際チーム医療演習」が2月27日～28日に開催されました。今年は新しい取り組みとして、より濃密なディスカッションができるように、期間を2日間延ばしました。参加大学は例年と同じく、トーマスジェファソン大学(アメリカ合衆国)、FHキャンパス・ウィーン(オーストリア)、ヤンゴン医療技術大学(ミャンマー連邦共和国)、カレル大学(チェコ共和国)からの計10名と、北里大学医療衛生学部在学生22名、さらには医学部・薬学部・看護学部の留学生7名と在学生を合わせた、6カ国・8校・65名での大規模な国際交流プログラムとなりました。

今回の国際チーム医療演習には、2つの学習目標がありました。1つ目は、



チーム医療の原点は、傾聴し理解しようということ

「患者様の様々な文化的・社会的背景への配慮について学ぶ」でした。あるグループでは、糖尿病患者に対する「宗教的な配慮」として「断食期間中の血糖管理」を挙げていました。他学生からは「断食は生命を脅かすので辞めさせるべきなのではないか」という意見も出ましたが、ミャンマーの学生から「断食をすることが本人にとって何よりも重要な宗教的行為であり、血糖管理のモチベーションになる」と聞き、会場中がはっと息をのみました。医療



「この患者様にとって…」がチームをまとめる魔法の言葉

従事者はとかく「すべき」というこちらの価値観を患者様に当てはめようとしています。けれども、個々人には異なる文化的・社会的背景があり、それらを尊重しながらも医療を提供することが、我々の責務であると気づかされた場面でした。

2つ目の学習目標は、「異なる分野・言語・文化を持つ人達とチームとして働くための方法を学ぶ」でした。言語的な障壁があつたとしても、ジェスチャーや翻訳アプリを用いて「相手の気持ちを察し、時間をかけて丁寧に聞くこと」



演習を通じて育んだ友情は全世界へと広がっていきます

や、「この患者様にとって何が一番良いのか」と患者様を中心に捉えたときにチームとしての凝集性が高まること、などが各グループから学んだこととして挙げられました。チーム医療を進める本当の秘策は、コミュニケーションを取り、相手を理解しようということ。この学びは、将来医療従事者として働く上で、きっと役立つと思います。

最後に、国際チーム医療演習の円滑な運営にご尽力いただきました、北里英郎学部長、清和成国際交流委員長、教員、事務職員ならびに学生の皆様に心より御礼申し上げます。

言語聴覚療法学専攻——学会開催、頑張りました、頑張ってます！

リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻
教授 石坂 郁代
講師 原 由紀

リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻では、専攻の教員が学会長となって2年続けて学会を開催しています。ことやコミュニケーションの学会をご紹介します。

2018年5月12日(土)、13日(日)の2日間、IPE棟を会場として第44回日本コミュニケーション障害学会学術講演会



みんなで最後に笑顔で「ST！」(手の形を見てください、左はS、右はT)

同専攻の村上健が務めました。コミュニケーション障害学会は言語聴覚士などコミュニケーションの臨床・研究に関心を持つ者が集う学会です。言語聴覚士の国家資格が成立する20年以上前から活動している小規模ながらも伝統ある学会です。当日は参加者426名と、この学会にしては大盛況で、82演題が発表されました。特別講演は、新進気鋭の思索家伊藤亜紗先生(東京工業大学)の「体の違いを映すことば」と題された、視覚障害のある方の視点からことばとコミュニケーション

攻の石坂 郁代、事務局長は



昨年の同学会での発表の様子
(左:大会長の原 由紀、右:事務局長の秦 若菜)

点、元北里大学一般教育部の鈴木牧彦先生に「臨床研究のすすめ」と題した講演をいただきました。言語聴覚士を養成している医療系大学では初めての学術講演会開催であり、卒業生の皆様にも多数ご参加いただき、大変有意義な2日間でした。IPE棟での懇親会も、美味しく楽しかったですよ！

に切り込むご講演でした。教育講演では当専攻の佐野肇先生に「超高齢社会における聴覚障害の問題

チーム力を発揮し、専攻一丸となって準備を進めております。日本吃音・流暢性障害学会は、吃音に関わる方や関心のある方なら、臨床家や研究者、当事者とその家族など、どなたでも会員になることができるという、日本でもあまり例のない形態の学会です。最新の学術的な研究報告やエビデンスに基づいた多様な吃音支援の方法の発表などに加えて、様々な情報との交換や、初めて吃音の臨床に携わる臨床家向けのワークショップ等も企画しています。特別講演には、「きよしこ」『青い鳥』などで知られる作家の重松清氏をお招きしています。ご興味のある方は、是非のぞいてみてください。みなさまの学会へのご参加をお待ちしています。

The 7th Meeting of Japan Society of Stuttering and Other Fluency Disorders

日本吃音・流暢性障害学会 第7回大会

大会テーマ：吃音を癒やす 未来への架け橋

特別講演：重松 清氏「ことばのちから」

会期 2019年8月30日(金)・31日(土)

会場 北里大学相模原キャンパス

会費 原 由紀

演題発表期間 2019年2月1日(金)～4月26日(金)

事務局：〒252-0272 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻
原由紀 教授(〒252-0272)
E-mail: yodanori@phs.u-tokai.ac.jp

ポストコンgresセミナー
期日：9月1日(日)
会場：ユニコムプラザさがみはら
(小田急線 相模大野駅 徒歩3分)

<http://meeting7-jssfd.umin.jp/>

新任教員紹介

医療工学科 臨床工学専攻

教授 久保田 勝



出身：島根県。
略歴：岡山大学医学部卒業、博士（医学）。北里大学病院呼吸器内科で研修。北里大学医学部呼吸器内科学助手、専任講師、准教授を経て現職。
趣味：スポーツ観戦。

臨床工学専攻教授への着任にあたり

2019年4月1日付けで医療工学科臨床工学専攻の教授を拝命いたしました。

これまで北里大学病院および北里大学医学部で呼吸器内科医、教員として臨床と教育に従事してまいりました。

病院では、気管支鏡検査による肺癌の診断、COPD、間質性肺炎や肺癌の診療を行っていました。また、前任の小林弘祐教授の指導の下、肺生理を中心として、特に呼吸機能検査に関連した仕事を任せてまいりました。

学生みなさんに、生体機能代行装置をはじめとした医療機器が使用されている患者様を中心に考え、その病態を理解することの重要性を認識していただけるように取り組んでいきたいと考えます。学生みなさんからの気楽な質問、相談をお待ちしております。今後ともよろしく願います。

リハビリテーション学科 理学療法専攻

教授 東條 美奈子



長野県松本市出身。1995年山形大学医学部卒、2000年北里大学医学部助手。2年間の米国留学を経て、2009年より医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法専攻准教授。専門は循環器病予防医学・心臓リハビリテーション

教授就任のご挨拶

増田 卓教授の後任として、本年4月1日付で理学療法評価学の教授を拝命いたしました。お世話になったすべての方々のお名前を挙げる事が出来ないほど、多くの方々に支えられての就任であり、皆様には本当に心よりお礼申し上げます。

心臓リハビリテーションは運動療法に加えて生活習慣改善を含めた疾病管理教育を特徴とするプログラムから構成され、カテーテル治療・心臓血管手術や薬物療法に並ぶ循環器疾患の重要な治療法であり、心血管病の発症・増悪予防の要です。これまでの多くの先生方のご活躍の賜物である伝統を受け継ぎ、さらなる発展を目指して頑張っていきたいと思えます。引き続きのご指導・ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

健康科学科 環境衛生学

助教 亀井 樹



出身：山梨県。略歴：山梨大学大学院修士課程国際流域環境科学特別教育プログラム修了。同大学博士課程環境社会創生工学専攻修了、博士（工学）。同大学院総合研究部附属国際流域環境研究センター博士研究員を経て着任。趣味：海外旅行、風景写真撮影、サッカーなど

環境衛生学教室助教着任のごあいさつ

2019年4月1日より、医療衛生学部健康科学科環境衛生学教室の助教に着任しました。

私は微生物の働きを使って水をきれいにする、排水処理や飲料水浄化の研究に取り組んでいます。日本に加えて開発途上国を研究フィールドにし、日本で得た研究成果を、途上国版に変換して適用し、その国の問題解決に挑戦してきました。途上国を訪れると体調を崩すことがありますが、そのおかげかその国が抱える問題を身近に感じる事ができ、より熱意を持って問題解決に取り組むことができました。学生みなさんにも今この社会・世界にある問題をより身近に感じてもらえるように、私が培った国内・国際的な経験を教育活動の中に織り交ぜて伝え、問題解決には何が必要なのか、学んだ知識をどのように生かすのか、共に考えていきたいと思います。

医療工学科 診療放射線技術科学専攻

助教 水上 慎也



神奈川県横浜市出身。北里大学を卒業後、北里大学病院放射線部勤務。趣味はサッカー、フットサル。中学時代の同級生、元日本代表の中村俊輔が現役で頑張っている間は、体を動かしたいと考えています。

北里大学医療衛生学部着任のご挨拶

4月より診療放射線技術科学専攻の助教として着任いたしました。北里大学同専攻の5期生として卒業、北里大学放射線部で13年勤務し、4年前より同専攻へ派遣されておりました。そして、今回、医療衛生学部教員として職種変更することとなりました。

診療放射線技師としては主にMRI検査を担当しており、MRIの撮像技術について研究してきました。大学に派遣されてからは、他の先生方と共同でMRI、X線CTや放射線治療など分野を広げて研究を行っています。

これまで後輩である学生に教育を行ってきた、さらに伝えたいことが増え、教員へ職種変更することになりました。学業、臨床、研究、教育と北里で21年学んできたことを後輩である学生に伝え、立派な社会人、医療人として巣立って欲しいと思います。



● 学生が選ぶ ベストティーチャー賞

ベストティーチャー賞を受賞して

リハビリテーション学科
作業療法学専攻
講師 渡邊 愛記



この度の受賞をととても嬉しく思います。ありがとうございます！

私たち作業療法士はクライアントの希望を叶えるお手伝いをする仕事です。教員としての私のクライアントは学生であり、学生の希望を叶えるために困っていることを解決し、より良い生活を送れるようにするためには、臨床における対象者への関わりと同様に接することが大切だと思っています。それが「親身になって相談にのってくれた」という受賞理由なのだと思います。

具体的な対応方法として特別なことはしていませんが、学生が話しやすい環境を設定し、話してくれたことは否定せず、共感していることを伝えるよう心がけています。また、注意しなくてはならないときは、叱咤する言葉の中にも学生への想いが伝わるよう言葉を選び、次からどうすると良いかということと一緒に考え、結論を共有するようにしています。教員と学生というより、人とのつながりを大切に関わりたいと思っています。

「教科書をしっかり読む」？

基礎医学部門 解剖・組織学
准教授 小畑 秀一



受賞の知らせを頂いて、正直なところ戸惑っています。皆様に紹介できるような取り組みを行っている訳ではないからです。そこで、恥を承知で、最近考えていることを書かせて頂きます。

「教科書をしっかり読む」とはどういう読み方でしょう。「教科書をしっかり読んでください」と、私は授業でよく言っています。ある時、その意味が学生に正確に伝わっているのか心配になりました。なぜなら、私が教科書の読み方を意識したのはだいぶ年をとってからだったからです。論理的に書かれている(はずの)教科書はパラグラフで構成されています。パラグラフは、一つのトピックについて一つの主張を記述するものであり、主張とそれを支持する根拠や具体例から構成されています。そして、複数のパラグラフが論理的に連携しながら、さらに大きな塊を作っています。つまり、(1) パラグラフ内では、主張と根拠に整合性があるかどうかを考え、(2) パラグラフ間にどのような論理関係が成立しているかを考えて読む、というのが「教科書をしっかり読む」

ことの中身です。

ただ単に「教科書をしっかり読みなさい」と言うだけでなく、授業で使用している教科書を用いて、この読み方を具体的に伝える必要性を強く感じています。

でもそうすると、教えるべき解剖学の内容を少し犠牲にしなければなりません。さて、どうしたものやら・・・。



2018年度ベストティーチャー賞授賞式

●お薦めしたい この1冊この1枚この1本

医療工学科
臨床工学専攻
講師 小川 恵美悠



ジャクリーヌ・デュ・プレの エルガー チェロ コンチェルト

私は理工学部出身で、光による治療器・診断器の開発研究を行っています。チェリストの父とピアノ講師の母の影響で3歳よりチェロを始め、以来細々と趣味としてチェロを続けています。古より科学と音楽には密接な関係があると言われていますが、応用化学科出身の祖父とチェリストの曾祖父を持つのも偶然ではないのではないかと思います。私が数あるチェロの名曲・名演の中でも特に好きなのが、ジャクリーヌ・デュ・プレによるエルガーのチェロ コンチェルトです。1918年にイギリス人作曲家エドワード・エルガーによって作曲されたチェロ協奏曲ホ短調作品85は、エルガー晩年の最高傑作であり、特にこのデュ・プレによる演奏は大変な人気があります。音だけでも大変素晴らしいのですが、デュ・プレの情熱的な演奏姿は何度見ても心を打たれます。デュ・プレは29歳のときに多発性硬化症と診断されて演奏家として事実上引退し、42才の若さで世を去りました。1987年10月19日、偶然にも私が生まれる前日のことでした。まるで音楽の美しさ・悦び・情熱そのものが妖精として現れたようなデュ・プレの演奏姿は、これからも世界中の人々を魅了し続けるのだと思います。



●学生生活紹介 懇和会

基礎医学部門
薬理学
准教授 小島 史章



釣り体験 ～釣って、捌いて、美味しく食す～

私は、子供の頃から根っからの釣りバカ。そんな私が企画した懇和会は「アウトドア活動」。企画の中心は「魚釣り」です。とは言っても、参加者の大半は釣り未経験者。今回は神奈川県内の自然の川を利用した管理釣り場にて、魚たちと戯れてきました。

「にょろっとした餌は無理」ということで、イクラを餌にして釣りに挑戦です。すぐに魚がヒットして歓声が上がります。始めは針から魚を外してあげなくてはならず、釣れ始めると大忙し。しかし、そのうちにみんな自分で外せるようになりました。一匹釣れるともっと釣りたいようで、仕掛けを流す深さを変えてみたり、餌を揺らして魚を誘ってみたり、色々工夫を凝らし試行錯誤していました。最初はなることかと思われた釣行でしたが、全員が魚を釣り上げることができました。その数なんと合計80匹以上。さて、今回の企画の最終目標は「釣って、捌いて、美味しく食す」です。次は調理に入ります。最初は魚に触るのがちょっと気持ち悪いようでしたが、80匹も捌いているうちにみんなプロ並み！？（言い過ぎ？）の鮮やかな手つきに……。シンプルに塩焼きで美味しくいただきました。初めて自分で釣り上げた魚の味は格別だったことでしょう。2019年度も自然を満喫できるようなアウトドア活動を企画したいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。



キャンパス あるある川柳 優秀作品

by AHS 編集委員会

たいへん
よくでき
ました

講義室 空気も熱意も 寒暖差

医療衛生学部教員 T・M

寒い冬ミートテックを僕は着る

大学院医療系研究科2D M・I

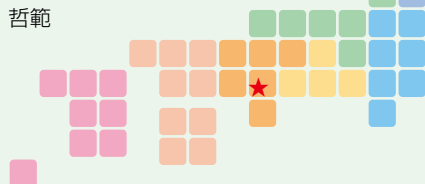
「詠もうぜ、北里川柳」にたくさんのご応募ありがとうございました。厳選なる審査の結果、2句が選ばれました。

下野先生のお国自慢!!

●大阪編



医療工学科診療放射線技術科学専攻
教授
下野 哲範



マイカタちゃいます、ひらかたです。枚方市自慢



枚方T-SITE

大阪と言えば、USJ・吉本新喜劇・通天閣がBIG3！大阪・梅田の地下街は関西人でも慣れてないと遭難するところです。大阪ではエスカレーターは右側に立つ（左側をあける）、大阪以外は逆です。観光地は大阪市内が多いですが、私が育ったのは大阪の北東部にある枚方市です。「ひらかた」と正しく読める人は半数ぐらいで「マイカタ」と読む人も多いです。「TSUTAYA」の1号店が枚方で誕生し、創業者の増田宗昭さんが出身であることから、代官山、湘南に続く関西発プロジェクトで2016年に「枚方T-SITE」がオープンしました。

「ひらパー」の愛称で親しまれる枚方パークは年間100万人以上が訪れる関西屈指の遊園地です。継続している遊園地としては、ひらかたパークが日本最古の遊園地です。「超ひらパー兄さん」2代目（園長兼任）として2013年に枚方生まれのV6岡田准一さんが就任されました。

枚方パーク



以来、ひらパー独特の関西臭の濃いポスターが面白いと毎回話題になっています。大阪駅からJRと京阪電車を乗り継いで30分で到着です。地味な遊園地ながら大盛況な「ひらパー」に是非立ち寄ってくださいね。

寄付のお願い



A1号館及びA2号館を建替える新校舎建築計画がスタートし、2019年2月の着工、2020年6月の竣工を目指し、現在作業が進められております。冗費の節減に努めながら建築計画を進めてまいります。私立大学を取り巻く環境は複雑さを増しており、盤石な経営基盤の確立が強く求められております。北里大学のルーツである衛生学部の伝統と精神を継ぎ、教職員・学生が笑顔で集える学部を目指してまいりますので、このような状況をご賢察いただき、本趣旨にご理解とご賛同いただけます皆様からのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ先 北里大学医療衛生学部事務局総務課
Tel:042-778-9603 Fax:042-778-9628
Mail:kifuahs@kitasato-u.ac.jp

編集 後記

平成最後のAHSをお届けします。私は北里大卒業後、キャンパス内の移り変わりをみて参りました。旧教養棟は1F棟へ3翼が特徴の旧病院は超近代的な新病院へと生れ変わりました。しかし建物が消えていくのも目にします。今回、A1号館も素晴らしい建物に生まれ変わりますが、A3号館前の広場の木々が伐採されていくのを見るととても切ない気持ちになります。本紙にジャクリン・デュ・プレの話が掲載されています。多発性硬化症でコンサートの前日に手足の麻痺が発症した天才チェリストです。歴史に名を刻んだ素晴らしい人物音楽、建物はいつまでも語り継がれます。新元号で新校舎にて学ぶ我々も後世に名を残す素晴らしい人物になりたいものです。

編集委員会

委員長 石川 均
委員 藤川 清太 黒深 委 石 均
井野 阿川 藤川 清太 黒深 委 石 均
上崎 部島 村口 水田 崎瀬 川
佳 誉 祥 敬 悦 祥 裕
子 也 子 麗 子 之 忍 朗 史 子 均